



WEEKLY REPORT

各務原ロータリークラブ

国際ロータリー第2630地区 東海北陸道グループ

2020-2021年度

国際ロータリー会長

ホルガー・クナーク(ドイツ)



ロータリーは
機会の扉を開く

例会日：毎月第2・第4水曜日

場所：各務原市産業文化センター2階 住所：各務原市那加桜町2-186

TEL <058>382-4649

FAX <058>382-4719

会長：小島 博彦

副会長：河野 春男

幹事：左高 洋

会報：藤井 孝一／松原 竜二

第2735例会

令和3年4月21日(水)

No.0672

本日のプログラム 2021年 5月12日(水) 18:30～

- 1) ガバナー補佐クラブ最終訪問

場所：産業文化センター2階 第2会議室

次回例会の予告 2021年 5月26日(水) 19:30～

- 1) 卓話 (松井先生)

場所：産業文化センター2階 第2会議室

出席委員会

会員総数24名 (出席免除3名)

前回 4月21日 補正後出席率 41.67%

職場例会 (アクアファーム岐南)

前々回 4月14日 補正後出席率 69.57%

春の防犯パトロール活動



～ 職場例会 (アクアファーム岐南) ～



黄色い袋の中身は、収穫間近のバナナ。
この状態で収穫し、むろ(室)に入れて3日程で



「天下布武信長バナナ」の完成です。

栄養満点でバナナ本来の味がして、とても甘い仕上がりとなっています。又、完全無農薬の為、皮まで食べられます。

市内近郊にて販売中ですので、是非一度ご賞味ください。詳しくは、「天下布武信長バナナ」にて検索



「天下布武信長バナナ」を使用した商品も開発中です。



※ 職場例会時のボイスレコーダーの不具合により、本会報は“こじかチャンネル”より抜粋させて頂きました。小島会長の“こじかチャンネル”皆様是非 ご視聴宜しくお願い致します。

凍結解凍覚醒法を施した バナナ畑の成長過程





バナナとは

バナナは、“木”ではなく“草”から生っています。

由ってバナナは果物ではなく、草から生る野菜です。

本来 果物は木に生る果実を指し、何年もかけ育ち、何度も実を付けます。

一方 野菜は草からとれる物を指し、1年で枯れ1度しか収穫出来ません。

”バナナの木”と称される木は、実は”草” から出来ており、柔らかい草がいくつも重なり合うことで強い芯となっています。由って”木”の定義である年輪は、バナナには存在しないのです。

又、日本のバナナは 無農薬の為 皮が薄く丸ごと食べる事が出来ます。

皮まで食べられるバナナは ”凍結解凍覚醒法” という方法により、日本の様なバナナの生育に適さない地域での栽培を可能としています。

※ 凍結解凍覚醒法とは、バナナに氷河期のような環境を体験させ、遺伝子内に記録された環境情報をリセットします。

リセットされた種子は、環境順応性を最大限に覚醒させる事により、日本 本土の気温では不可能と言われた「熱帯果樹バナナの栽培」を可能としました。

※ バナナには、ハウレンソウやカボチャ同様、カリウムが多く含まれている為、むくみ防止、食物繊維が豊富で便秘解消、代謝を高める、コレステロールを下げる、など沢山の効果がある。

是非皆様、後藤 健介 会長エレクトの農園（アクアファーム・岐南）のバナナをご賞味して下さい。

